

令和8年度「全国犯罪被害者等支援実務者会議」

〈グループワークの実施要領〉

- ①総合的対応窓口における初回相談受理時の対応について
 - ②機関内ワンストップサービス調整時の対応について
-

犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」



警察庁
National Police Agency

○グループワークの進め方

★グループワーク①：総合的対応窓口における初回相談受理時の対応について

- ・ 想定事例（配偶者DV傷害事件）等の説明
- ・ 相談者Aさんが、S市総合的対応窓口へ訪れた時の状況について、警察庁職員3名が寸劇を実施
- ・ S市職員の対応の是非等についてグループで検討
- ・ 発表（指名されたグループ）
- ・ 地方公共団体アドバイザーからのコメント

★グループワーク②：機関内ワンストップサービス調整時の対応について

- ・ S市職員が聞き取った相談内容の説明
- ・ Aさんの相談内容について、考え得る支援メニュー等についてグループで検討
- ・ 発表（指名されたグループ）
- ・ 地方公共団体アドバイザーからのコメント

【想定事例 配偶者DV傷害事件】

＜事件の概要＞

令和8年＊月＊日、〇〇県S市に住む女性Aさん(37歳)が、自宅内で、同居中の夫X(35歳)へ離婚話を持ちかけたところ、激高したXから暴行を受けた。

Aさんは右眼窩底骨折、肋骨骨折等で3日間の入院後、少なくとも通院3か月の治療を要するとのことで、今後、右眼の手術が予定されているが、医師からは、右目に視力障害の後遺症の可能性を指摘されている。

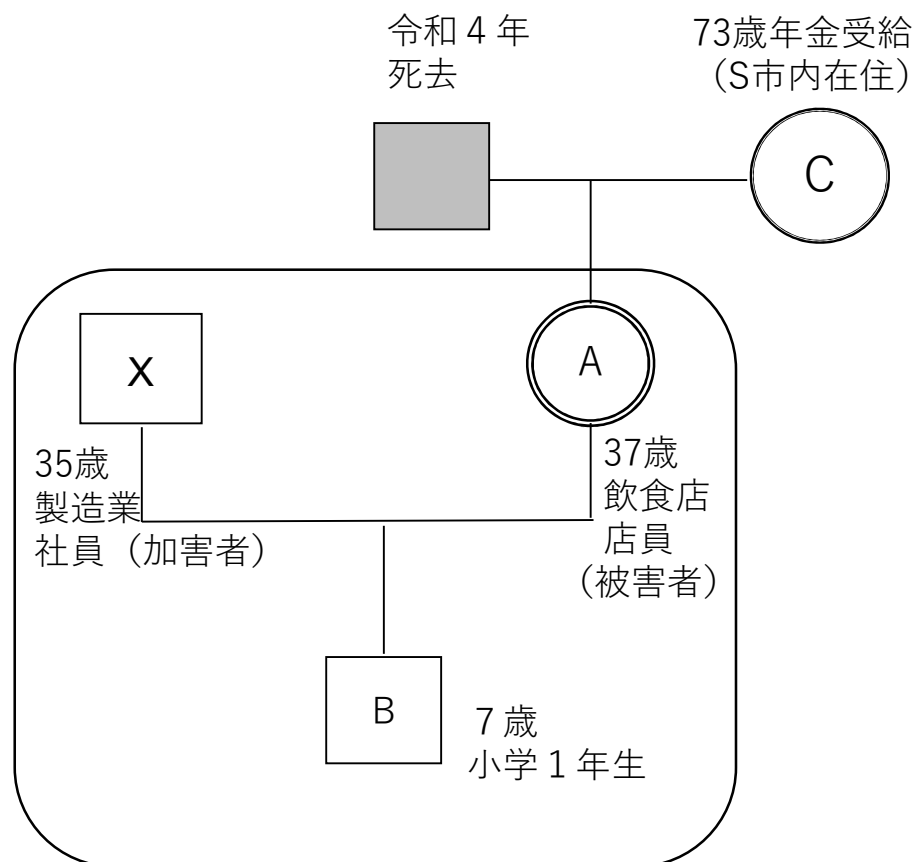
＜加害者の状況等＞

Xは、110番通報で駆けつけた警察官に逮捕され、現在勾留中。加害事実は認めているものの、Aさんに非があると主張している。

Xには前科・前歴はない。

AさんとXは10年前に結婚し、長男Bさん(7歳)がいる。2～3年前から常習的にAさんへのDVがあったが、Aさんは警察や市のDV相談窓口等へは相談をしたことはなかった。

○ 女性 □ 男性
 ■ 男性死亡 ◎ 相談者



<被害者及び家族の状況>

- ・ Aさんは、10年前にXと結婚し、小学校に通う長男Bさん（7歳）と3人暮らしだった。
- ・ 夫Xは、生活費をAさんに渡さないことも度々あり、経済的に余裕はない。
- ・ 被害後、AさんとBさんはS市内の実母Cさん宅で生活しており、Cさんが家事のほかBさんの世話などを行っている（実父は4年前に病気で亡くなっている）。
- ・ AさんはXとの離婚を強く希望している。
- ・ Aさんは被害後休職しているが、退職を考えている。
- ・ Xの両親（S市外に居住）は、以前からAさんと関係が悪く、Aさんに対して「被害届を取り下げてほしい」などと電話が来ている。

< S市の総合的対応窓口への相談経過 >

- ・ 事件当日、Aさんからの110番通報によって駆けつけた警察官によりXは逮捕されている。
- ・ Aさんは、事件後病院へ搬送され、3日間入院していた。
- ・ 退院後は、同じS市内に暮らす実母のCさん宅で、Cさんの助けを受けながら生活している。
- ・ 退院後に、県警察から「被害者の手引」の交付を受けて様々な説明を受けたが、分からない部分もあった。
- ・ 本件を認知した県警察は、多機関ワンストップサービスによる支援が必要であると判断し、コーディネーターに引き継ぐ予定であったが、被害者から情報提供の同意について留保されていたため、未だ引き継ぐことができていなかった。
- ・ Aさんは仕事を休職中であり、経済面の不安があったところ、S市のホームページで、見舞金（支援金）があることを知った。
- ・ Aさんは、自分も支給の対象になるのか確認しようと思い、事件の1週間後にS市の総合的対応窓口を訪れたものである。

グループワーク①

- ・各グループで、進行役を確認してください。
- ・各グループで、進行役の方を中心に検討を進め、指名された場合は発表をお願いします。
- ・話し合いの時間は、20分です。

<各グループで、下記の項目について話し合ってください。>

* 不適切と思われる点

* それをどのように改善するか

* その他気づいたこと、自機関・団体の現状、感想など

グループワーク②

- ・各グループで、進行役の方を中心に検討を進めてください。
- ・話し合いの時間は、25分です。

<各グループで、下記の項目について話し合ってください。>

* Aさんの相談から、

- ・「**困りごと**」…Aさん家族がどのようなことに困っていると考えられるか
- ・「**支援内容**」…市町村において行える支援を中心に、どのような支援が考えられるか
- ・「**連携先**」…連携先として考えられる自機関の課、係等
(また、他機関・団体で検討される連携先もあればあげてみる)

○上記について話し合い、検討メモ用シートに記入する。

* 自機関での機関内連携の実状や課題等について

<Aさんからの相談内容>

- ・ 夫Xとの離婚手続を進めたい。Xとは一切接触を持ちたくない。
- ・ 加害者及び加害者の両親（義父母）から逆恨みによる報復の不安があり、自宅に戻る予定はなく、転居を考えている。
- ・ 実母のCさんも高齢であることから、家事やBさんの育児などが大きな負担となっており、いつまでも実家には住めない。
- ・ 事件以前から経済的に苦しかった上に、これまでの仕事も続けられないことから、生活に不安がある。
- ・ 入院や通院費、手術代の支払いが大きな負担である。
- ・ Aさんは夫から暴力を受けた上に、医師からは、視力に後遺症が残ることを示唆されており、ひどく気持ちが落ち込んでいる。
- ・ 本事件は、長男Bさんの面前で行われたため、事件後、Bさんは心身の不調を訴えて学校を休んでおり、今後の対応等が不安。
- ・ 転居した場合は、転校もやむを得ないと考えている。